

世田谷区民意識調査 2026

(概要版)

区民意識調査概要版は、令和8年(2026年)5月に実施した「世田谷区民意識調査2026」を要約したもので、広く区民の方にその内容を知っていただくために作成しました。

今回の調査は、「定住性」「職員応対」など経年的な変化を把握するための調査項目に加え、「地域コミュニティ」「住まい」「里親制度」などに関する項目を調査対象といたしました。

これらの調査結果については、区政を推進するための基礎資料として活用してまいります。

また、詳しく知りたい方は、世田谷区の区政情報センター、区政情報コーナー、区のホームページで「世田谷区民意識調査2026」をご覧ください。

調査の概要

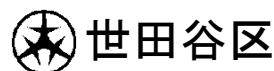
対象者	世田谷区在住の満15歳以上の区民
対象数	5,000人 (内訳／日本国籍4,821人、外国籍179人)
抽出方法	層化無作為抽出法
調査方法	郵送配布・回収またはインターネットによる回答
調査期間	令和8年(2026年)5月13日～6月3日
有効回収数	2,477人 (内訳／日本国籍2,411人、外国籍66人)
有効回収率	49.5% (内訳／郵送回収1,419通・57.3%、 インターネット回収1,058通・42.7%)

(令和8年(2026年)5月実施)

回答者の属性

- 1 定住性
- 2 区政
- 3 職員応対
- 4 広報
- 5 福祉と医療
- 6 子育て
- 7 里親制度
- 8 災害時の備え
- 9 地域コミュニティ
- 10 男女共同参画
- 11 平和資料館
- 12 健康づくり
- 13 都市デザイン
- 14 住まい
- 15 交通
- 16 就労・起業

令和8年(2026年)9月



今回の調査項目は次のとおりです。このうち★印のある項目をこの概要版に掲載しています。

1 定住性

- (1) 居住年数
- ★ (2) 暮らしの満足度
- (3) 幸福度
- ★ (4) 住みやすさ
- ★ (5) 定住意向
- (6) 定住意向理由
- (7) 非定住意向理由
- ★ (8) 地域における日常生活での困りごと

2 区政

- ★ (1) 区が積極的に取り組むべき事業

3 職員対応

- ★ (1) 窓口対応
- ★ (2) 印象が良かった点
- ★ (3) 印象が悪かった点
- ★ (4) 職員対応での注意点

4 広報

- ★ (1) 区の取り組みや地域の情報の入手経路
- (2) 発信してほしい区の取り組みや情報

5 福祉と医療

- (1) 「福祉の相談窓口」の認知度
- (2) 「在宅医療」の認知度
- ★ (3) 「ACP」（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）の認知度
- (4) 身近な相談相手の有無
- (5) 日常生活の不安や悩みの有無
- (6) 行政機関や民間団体からの支援
- (7) 地域住民同士の支え合いについて
- ★ (8) 認知症についての印象

6 子育て

- ★ (1) 区の子育て環境

7 里親制度

- ★ (1) 里親制度の認知度
- (2) 里親制度の認知経路

8 災害時の備え

- ★ (1) 大地震の際の避難行動
- (2) 災害時にできる住民同士の助け合い
- (3) 水や食料の備蓄について
- (4) 非常用電力の備蓄について
- (5) 携帯トイレの備蓄について
- (6) 自宅の水害リスクの把握度
- (7) 世田谷区防災ポータルの認知度

9 地域コミュニティ

- ★ (1) 地域活動への参加経験・参加意向
- (2) 町会・自治会への加入状況
- (3) 町会・自治会に加入しない理由

10 男女共同参画

- (1) 「男は仕事、女は家庭」という考え方について
- ★ (2) 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度
- (3) 「ドメスティック・バイオレンス」に対する考え方

11 平和資料館

- ★ (1) せたがや未来の平和館（区立平和資料館）の認知度

12 健康づくり

- ★ (1) 1日の歩行時間

13 都市デザイン

- ★ (1) ユニバーサルデザインのまちづくりで重要だと思う取り組み
- (2) 区内の風景への興味・関心
- (3) やってみたい風景づくり活動

14 住まい

- ★ (1) 住居費要因による住みづらさ
- (2) 住みづらいと感じている理由
- (3) 住みづらいと感じていない理由

15 交通

- ★ (1) 区の交通手段の満足度

16 就労・起業

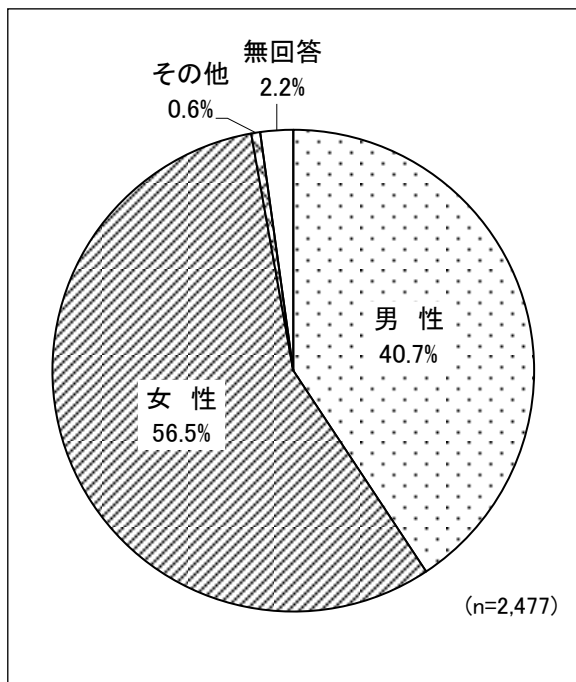
- ★ (1) キャリアアップへの興味
- (2) キャリアアップについての考え方
- (3) 就労意向
- (4) 希望する働き方
- (5) 起業への関心
- (6) 起業に関する状況
- (7) 起業に関する情報・支援への興味

グラフの見方

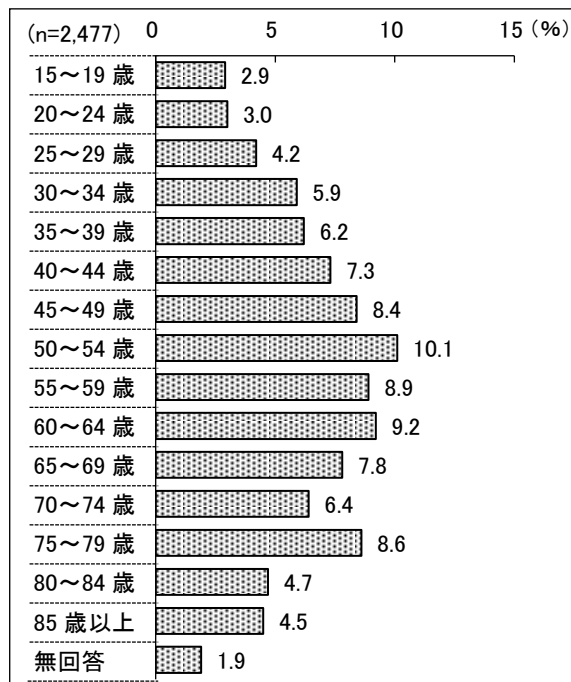
- 1 (複数回答) と記述されたもの以外は、選択肢を 1 つだけ選ぶ設問です。
- 2 小数点第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100.0%にならないものがあります。
- 3 複数回答の設問については、合計が 100.0%を超えることがあります。
- 4 グラフ中の n は、設問の回答者数を表します。

回答者の属性

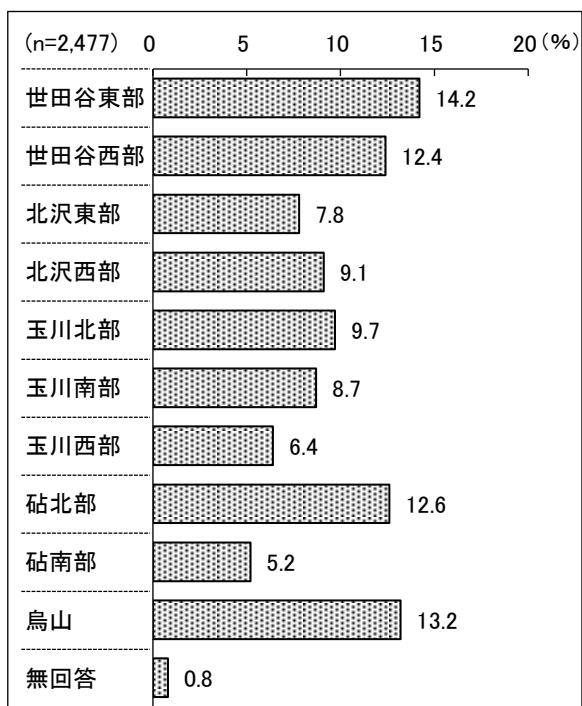
(1) 性別



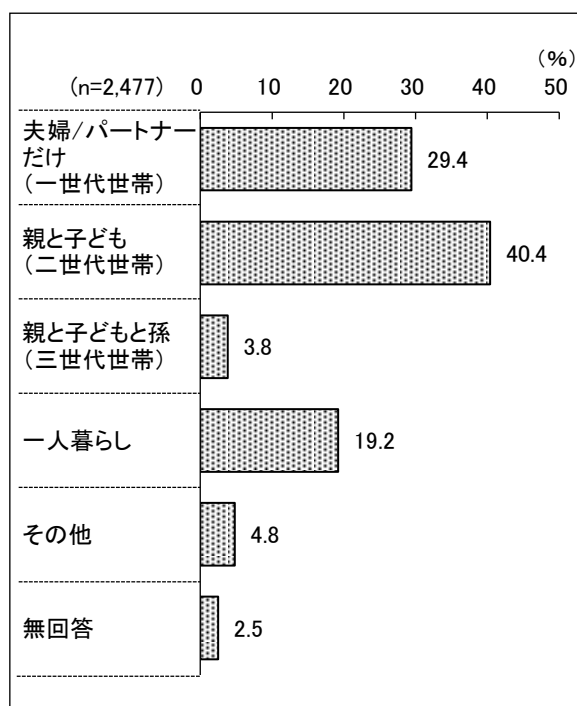
(2) 年齢



(3) 居住地区



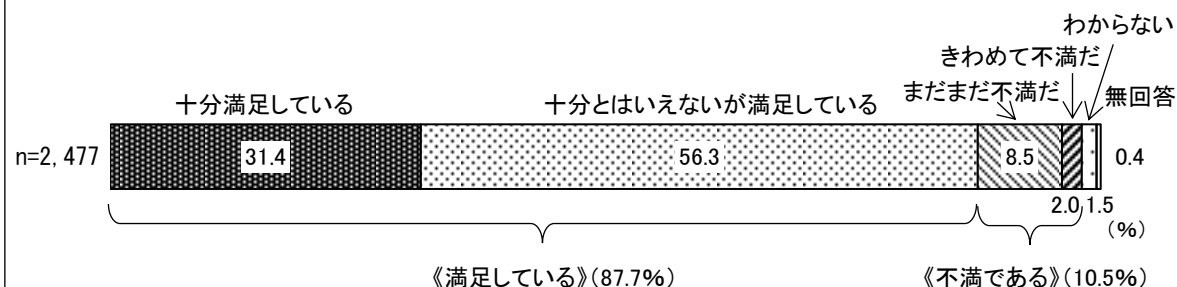
(4) 世帯構成



1. 定住性

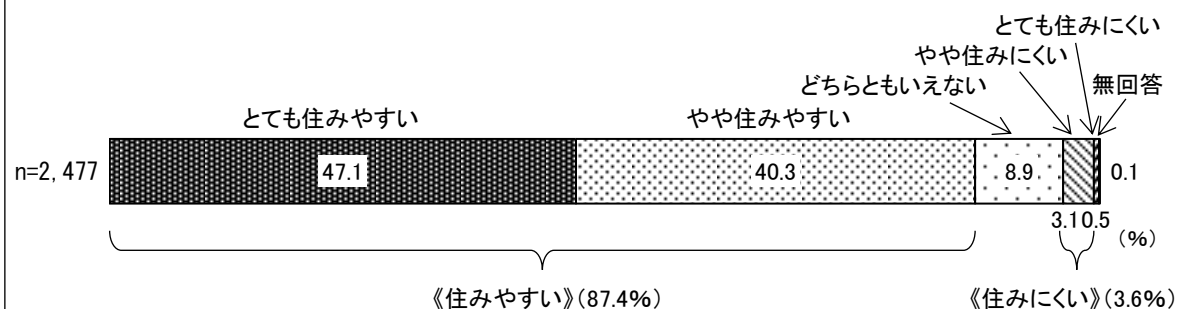
●暮らしの満足度

現在の暮らしについて、《満足している》と感じている方は87.7%となっています。



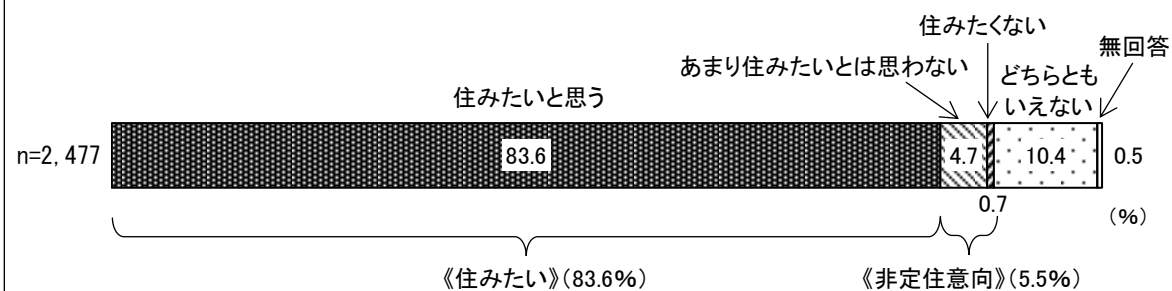
●住みやすさ

《住みやすい》と感じている方は87.4%となっています。



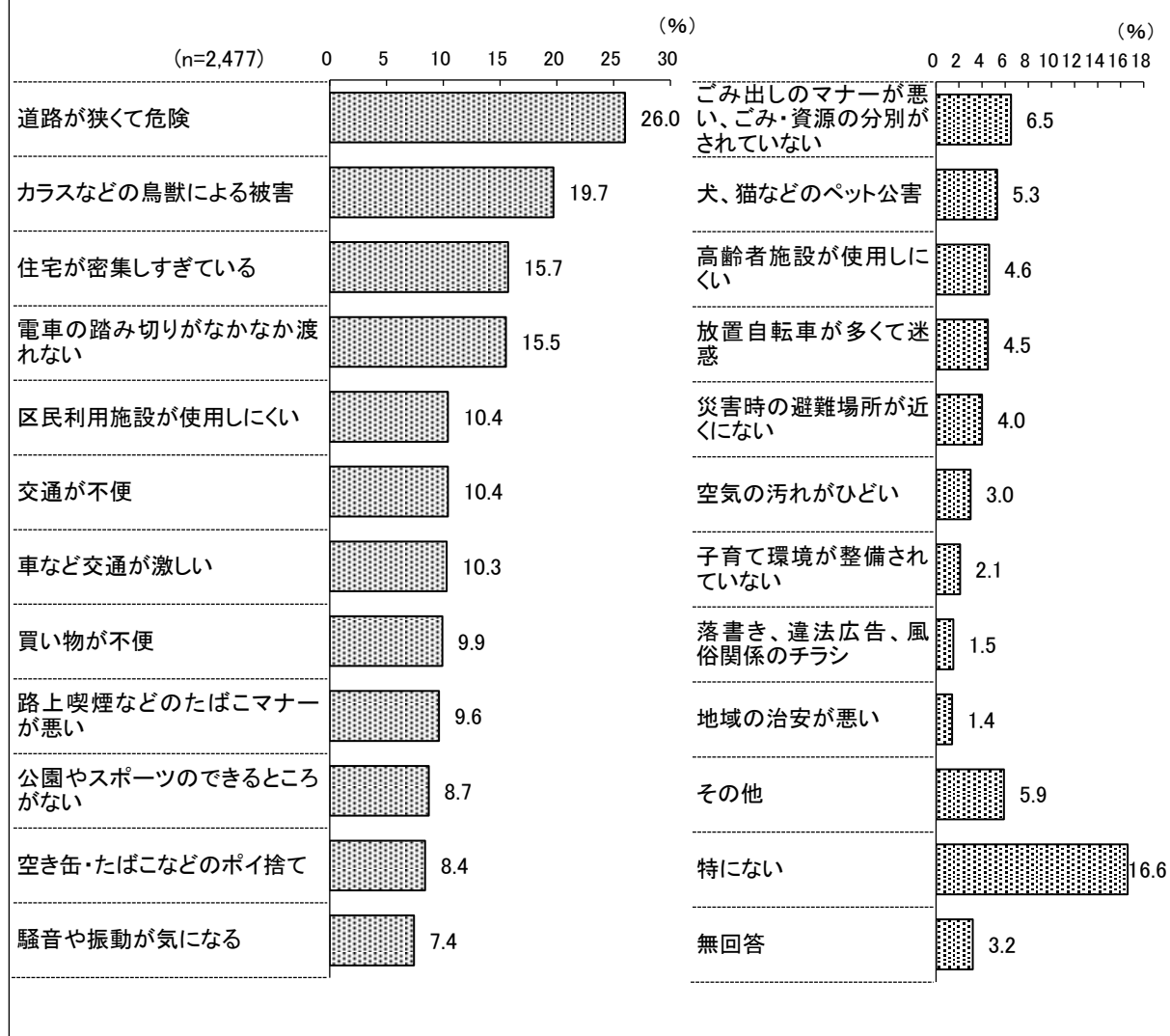
●定住意向

今後も世田谷区に「住みたいと思う」方は83.6%となっています。



●地域における日常生活での困りごと（複数回答）

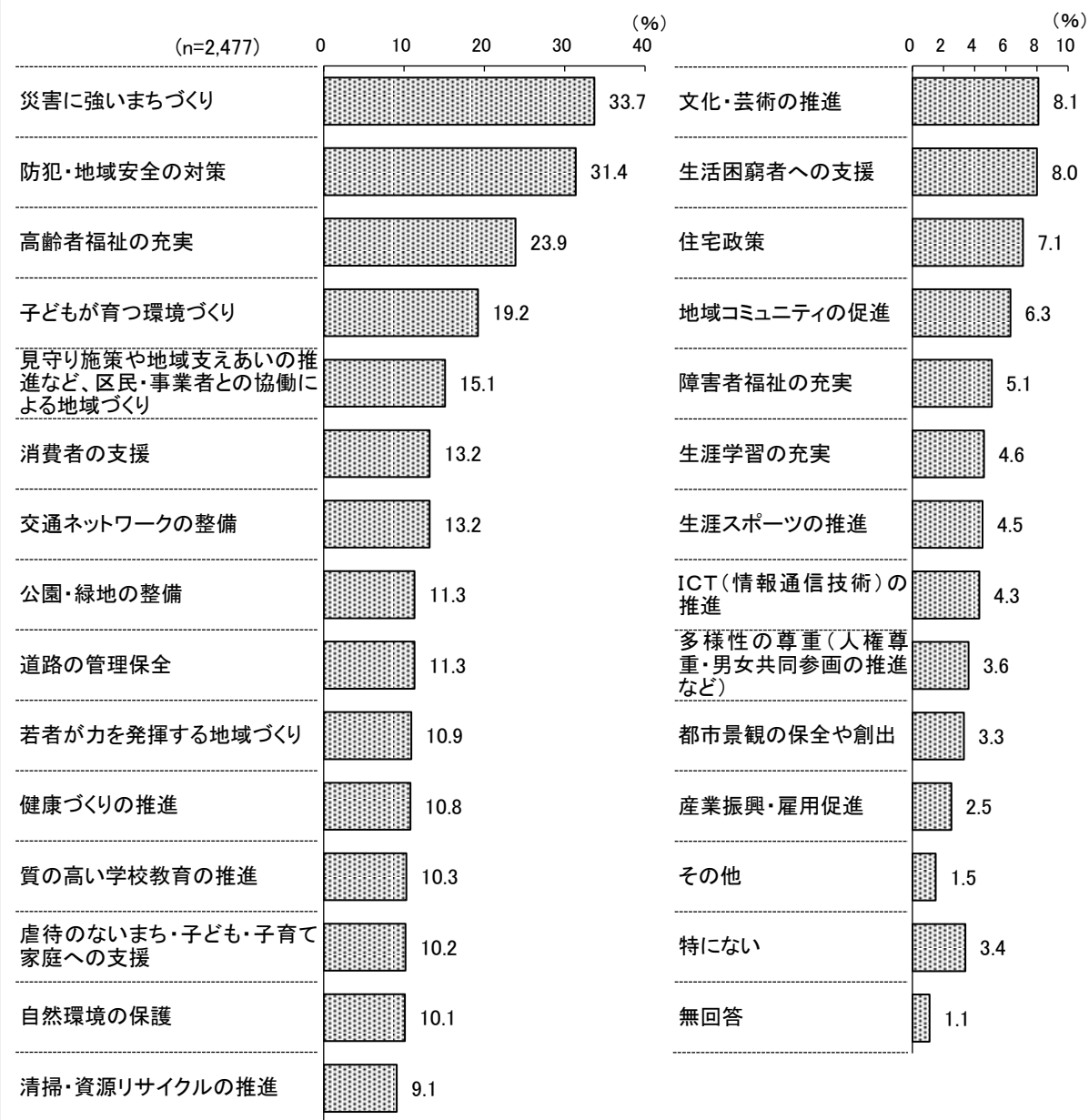
「道路が狭くて危険」が26.0%で最も高く、以下、「カラスなどの鳥獣による被害」、「住宅が密集しすぎている」などと続いています。



2. 区政

●区が積極的に取り組むべき事業（複数回答）

「災害に強いまちづくり」が33.7%で最も高く、以下、「防犯・地域安全の対策」、「高齢者福祉の充実」などと続いています。

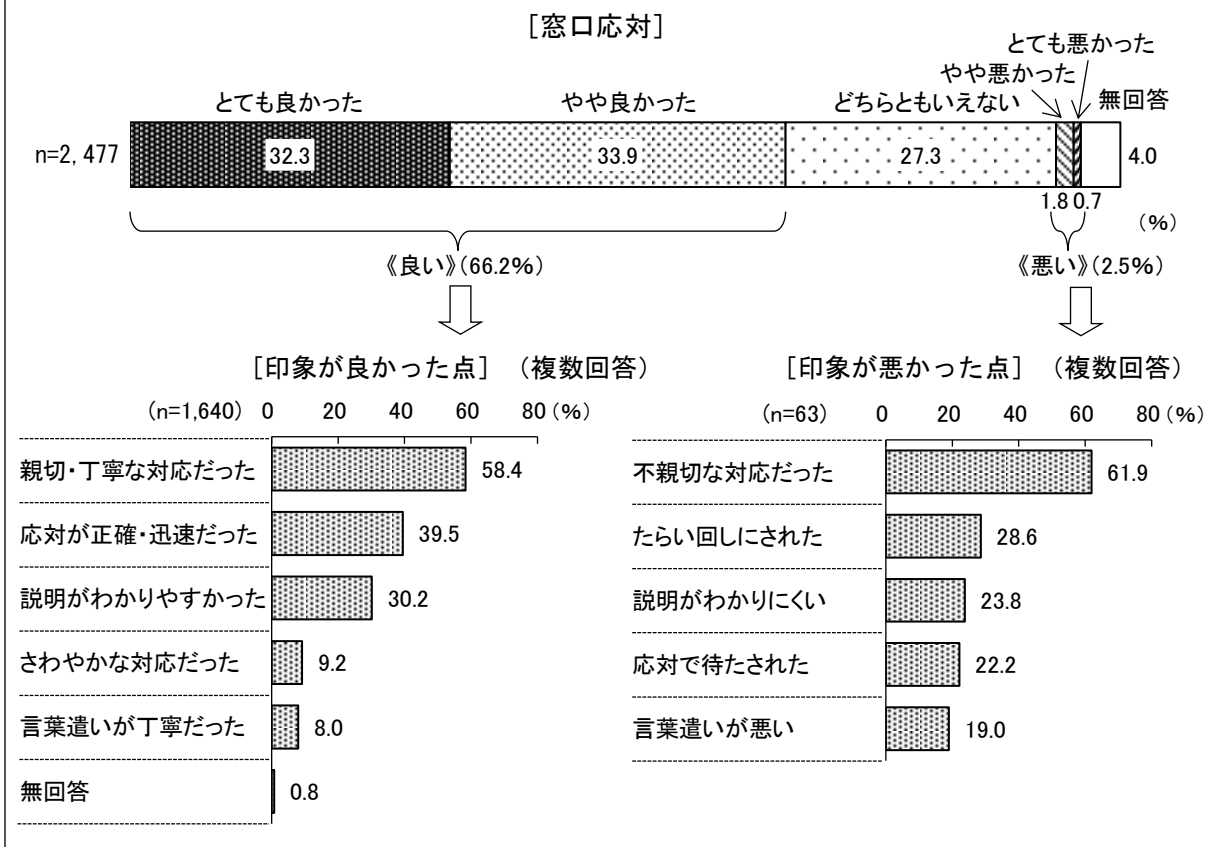


3. 職員応対

●窓口応対と印象が良かった点・悪かった点

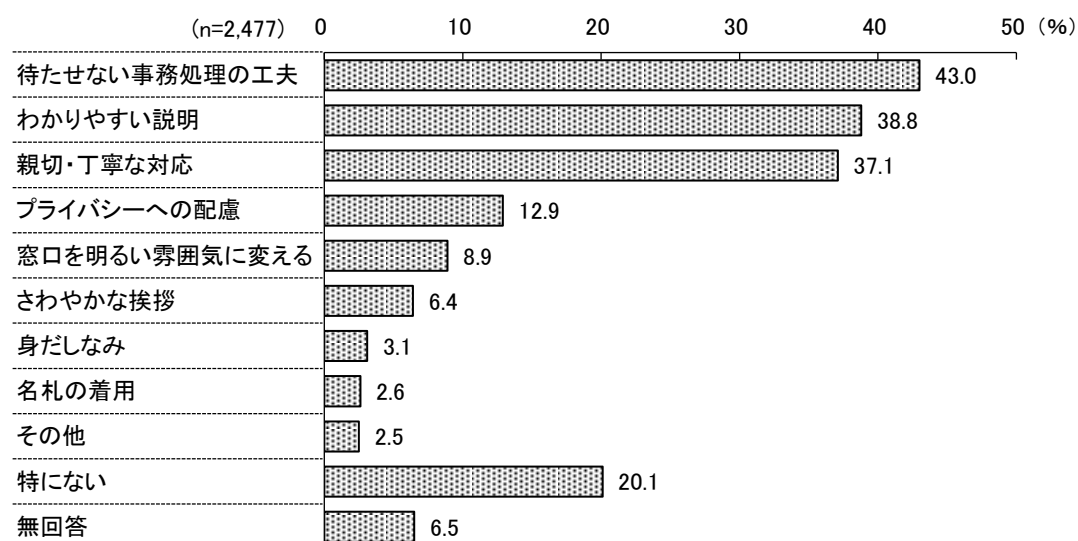
窓口応対は66.2%の方が《良い》と感じています。

親切・丁寧な応対だったかどうか、評価のポイントになっています。



●職員応対での注意点 (複数回答)

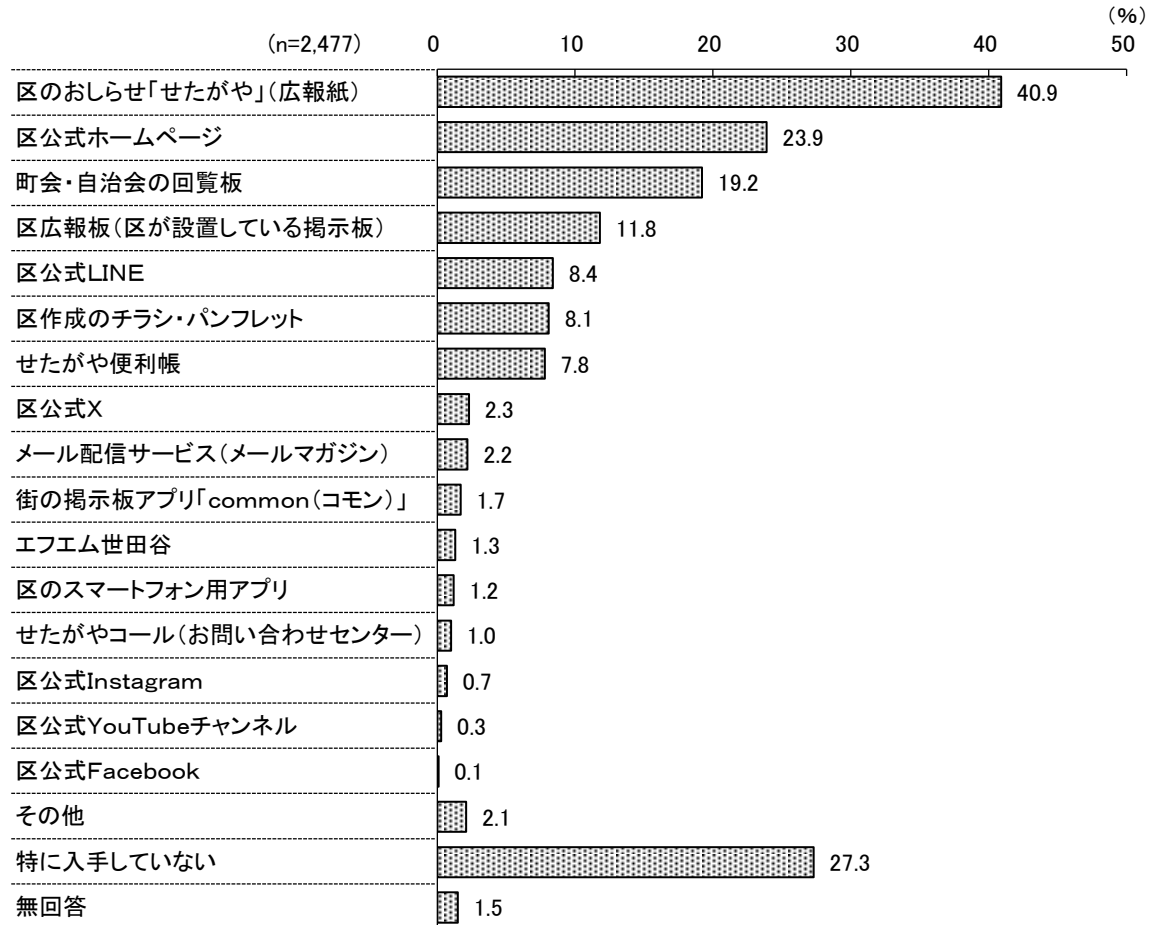
「待たせない事務処理の工夫」が43.0%で最も高く、以下、「わかりやすい説明」、「親切・丁寧な対応」などと続いています。



4. 広報

●区取り組みや地域の情報の入手経路（複数回答）

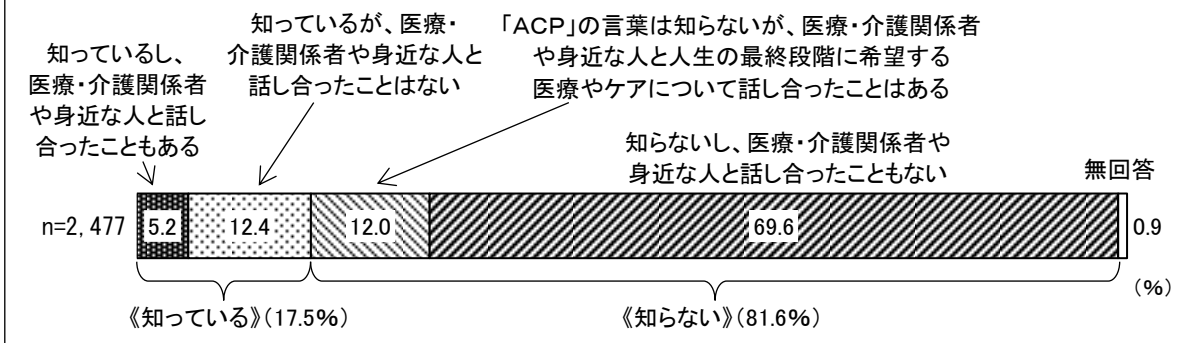
区取り組みや地域の情報の入手経路を聞いたところ、「区のおしらせ「せたがや」（広報紙）」が40.9%で最も高く、以下、「区公式ホームページ」、「町会・自治会の回覧板」、「区広報板（区が設置している掲示板）」などと続いています。一方、「特に入手していない」は27.3%となっています。



5. 福祉と医療

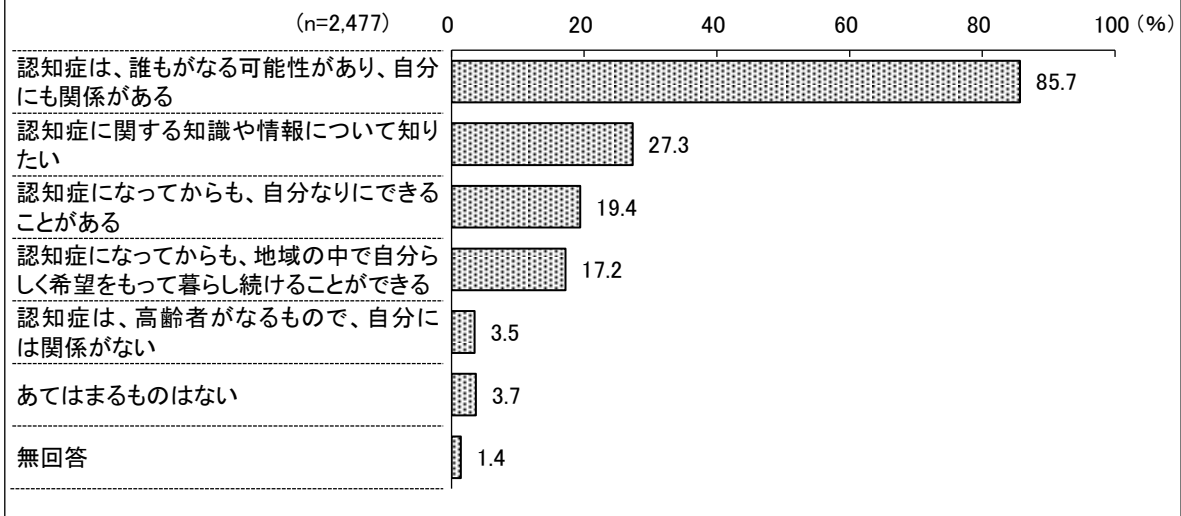
●「ACP」（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）の認知度

「ACP」（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）の認知度を聞いたところ、「知っているし、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったこともある」（5.2%）と「知っているが、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったことはない」（12.4%）を合わせた《知っている》が17.5%、「「ACP」の言葉は知らないが、医療・介護関係者や身近な人と人生の最終段階に希望する医療やケアについて話し合ったことはある」（12.0%）と「知らないし、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったこともない」（69.6%）を合わせた《知らない》が81.6%となっています。



●認知症についての印象（複数回答）

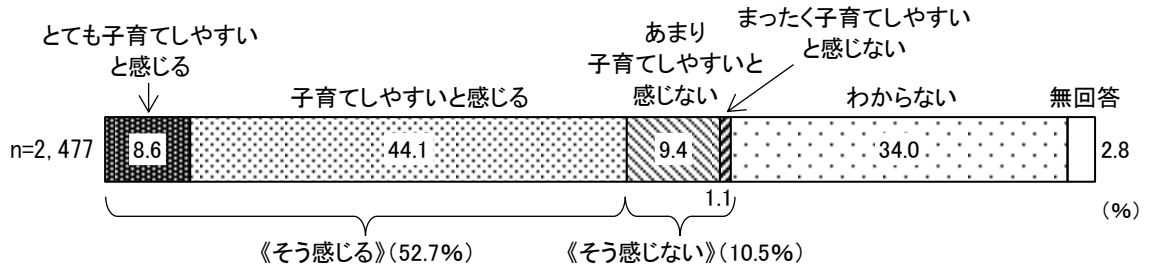
認知症についての印象を聞いたところ、「認知症は、誰もがなる可能性があり、自分にも関係がある」が85.7%で最も高く、以下、「認知症に関する知識や情報について知りたい」、「認知症になってからも、自分なりにできることがある」、「認知症になってからも、地域の中で自分らしく希望をもって暮らし続けることができる」などと続いています。



6. 子育て

●区の子育て環境

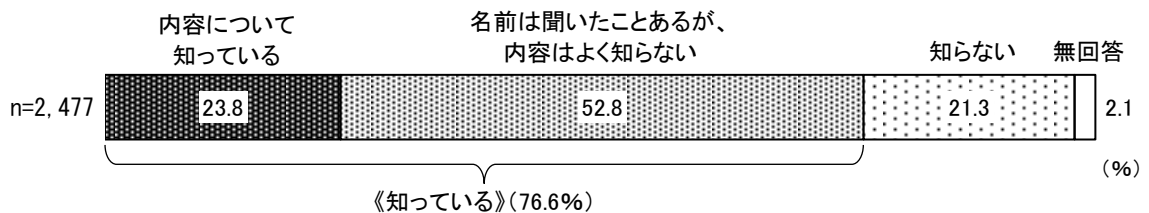
区の子育て環境について聞いたところ、「とても子育てしやすいと感じる」(8.6%)と「子育てしやすいと感じる」(44.1%)を合わせた《そう感じる》が52.7%、「あまり子育てしやすいと感じない」(9.4%)と「まったく子育てしやすいと感じない」(1.1%)を合わせた《そう感じない》が10.5%となっています。



7. 里親制度

●里親制度の認知度

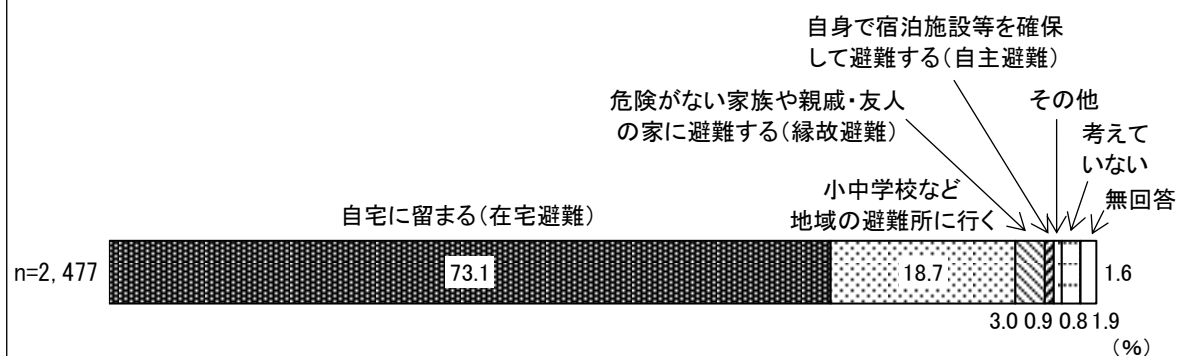
里親制度の認知度を聞いたところ、「内容について知っている」(23.8%)と「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」(52.8%)を合わせた《知っている》が76.6%、「知らない」が21.3%となっています。



8. 災害時の備え

●大地震の際の避難行動

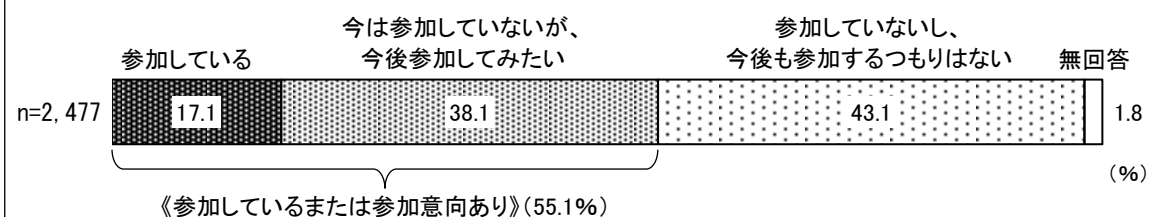
大地震の際の避難行動を聞いたところ、「自宅に留まる（在宅避難）」が73.1%で最も高く、以下、「小中学校など地域の避難所に行く」、「危険がない家族や親戚・友人の家に避難する（縁故避難）」などと続いています。



9. 地域コミュニティ

●地域活動への参加経験・参加意向

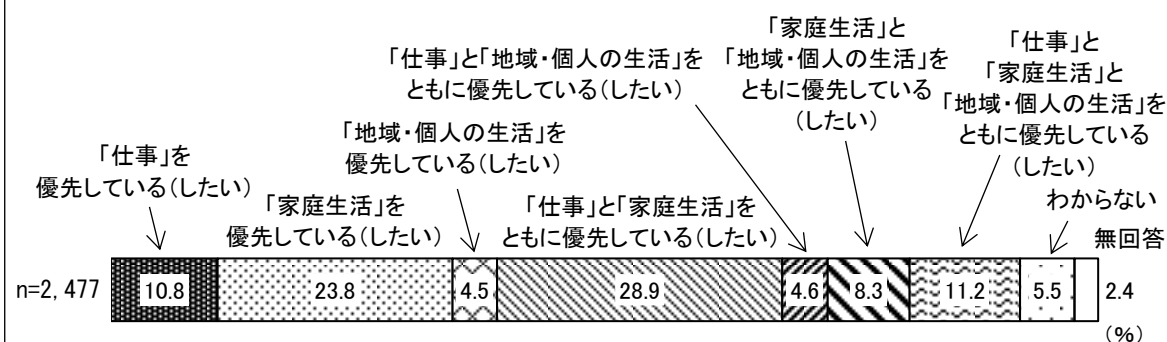
身近な地域の活動に参加しているかどうか聞いたところ、「参加している」（17.1%）と「今は参加していないが、今後参加してみたい」（38.1%）を合わせた《参加しているまたは参加意向あり》が55.1%となっています。「参加していないし、今後も参加するつもりはない」は43.1%となっています。



10. 男女共同参画

●「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度

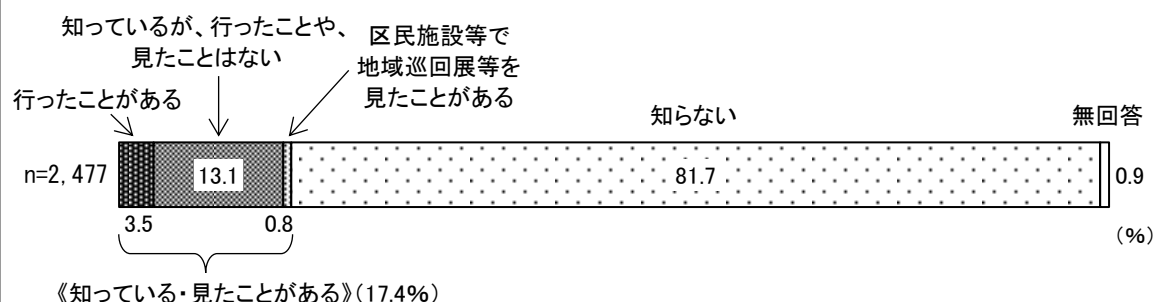
「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度を聞いたところ、「仕事」と「家庭生活」をともに優先している（したい）」が28.9%で最も高く、以下、「家庭生活」を優先している（したい）」、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している（したい）」などと続いています。



11. 平和資料館

●せたがや未来の平和館（区立平和資料館）の認知度

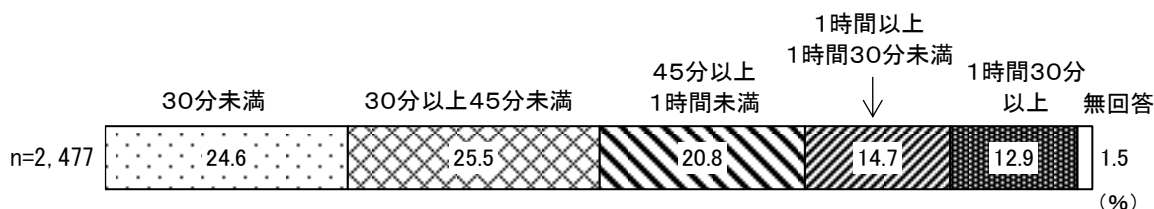
せたがや未来の平和館（区立平和資料館）の認知度を聞いたところ、「行ったことがある」（3.5%）、「知っているが、行ったことや、見たことはない」（13.1%）、「区民施設等で地域巡回展等を見たことがある」（0.8%）を合わせた《知っている・見たことがある》が17.4%、「知らない」が81.7%となっています。



12. 健康づくり

● 1日の歩行時間

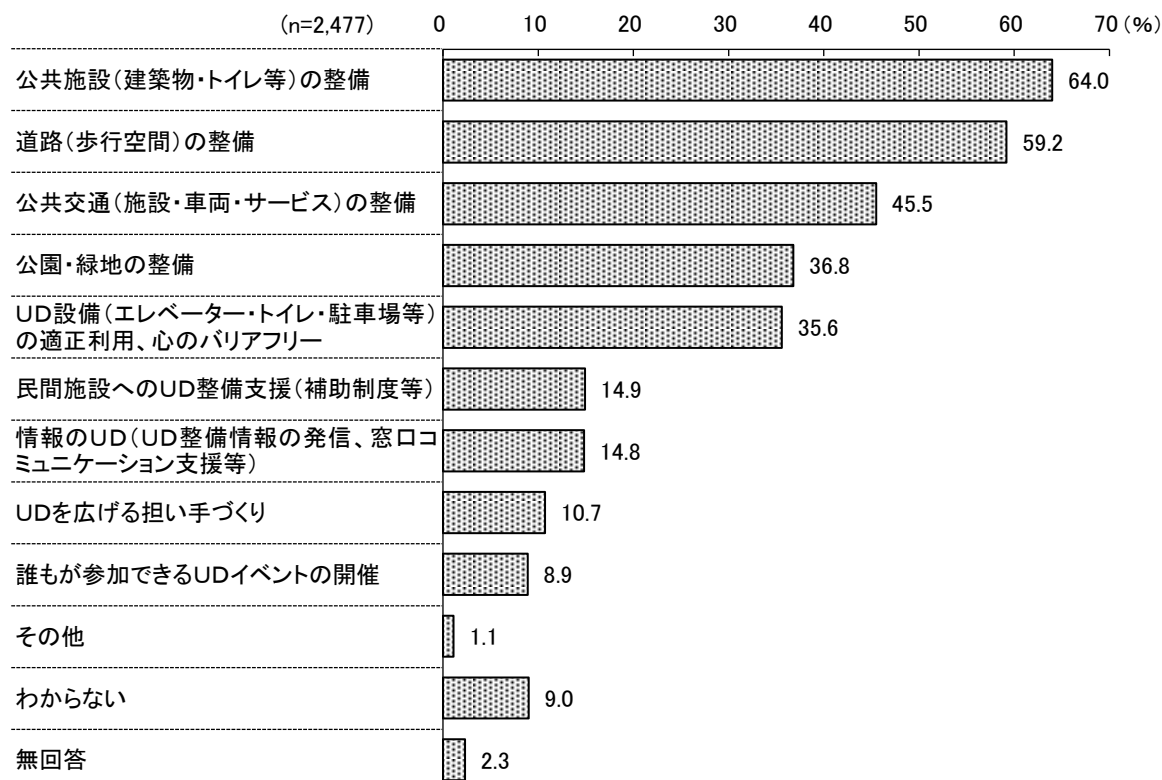
1日の歩行時間を聞いたところ、「30分以上45分未満」が25.5%で最も高く、次いで「30分未満」が24.6%となっています。以下、「45分以上1時間未満」、「1時間以上1時間30分未満」、「1時間30分以上」と続いています。



13. 都市デザイン

●ユニバーサルデザインのまちづくりで重要だと思う取り組み（複数回答）

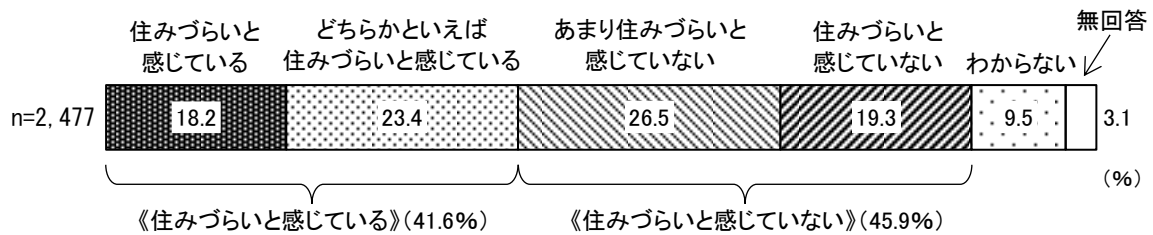
ユニバーサルデザインのまちづくりで重要だと思う取り組みを聞いたところ、「公共施設（建築物・トイレ等）の整備」が64.0%で最も高く、以下、「道路（歩行空間）の整備」、「公共交通（施設・車両・サービス）の整備」などと続いています。



14. 住まい

●住居費要因による住みづらさ

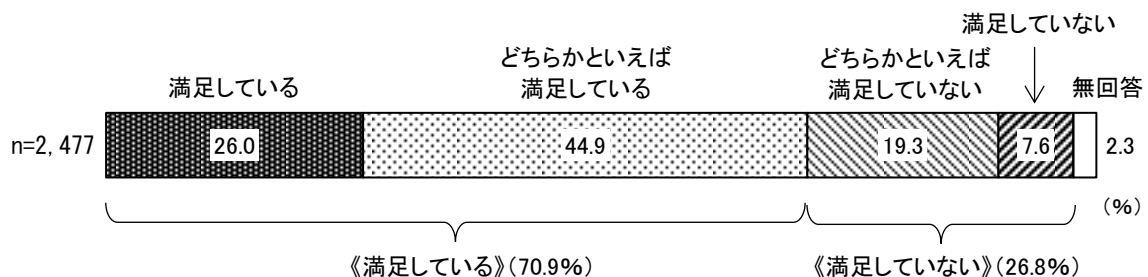
住居費要因による区内での住みづらさを聞いたところ、「住みづらいと感じている」(18.2%)と「どちらかといえば住みづらいと感じている」(23.4%)を合わせた《住みづらいと感じている》が41.6%、「あまり住みづらいと感じていない」(26.5%)と「住みづらいと感じていない」(19.3%)を合わせた《住みづらいと感じていない》が45.9%となっています。



15. 交通

●区の交通手段の満足度

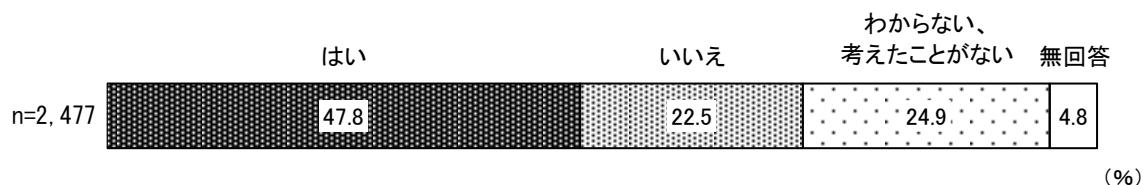
区の交通手段の満足度について聞いたところ、「満足している」(26.0%)と「どちらかといえば満足している」(44.9%)を合わせた《満足している》が70.9%、「どちらかといえば満足していない」(19.3%)と「満足していない」(7.6%)を合わせた《満足していない》が26.8%となっています。



16. 就労・起業

●キャリアアップへの興味

キャリアアップについて興味があるかどうか聞いたところ、「はい」が47.8%、「いいえ」が22.5%となっています。「わからない、考えたことがない」は24.9%となっています。



世田谷区民意識調査2026（概要版）

令和8年（2026年）9月発行（広報印刷物登録番号 No. 2479）

発行 世田谷区政策経営部広報広聴課
東京都世田谷区世田谷4丁目21番27号
電話：03（5432）2014
ファクシミリ：03（5432）3001

実施 株式会社アダムスコミュニケーション
東京都杉並区上高井戸1丁目8番17号 ブライトコアビル新館6階
電話：03（6847）5757
ファクシミリ：03（6847）5756